

報告

ベトナムベンチエ省 Nguyen Dinh Chieu General Hospital 医療視察報告

江尻晴美¹、馬場礼三²

¹ 中部大学生命健康科学部保健看護学科 ² 中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科

1. はじめに

特定非営利活動法人日本口唇口蓋裂協会(JCPF)は、我が国最大の口唇口蓋裂についての非営利のボランティア協会である(日本口唇口蓋裂協会:理事長 川口文夫 中部経済連合会名誉会長)¹⁾。活動の一つに、海外の口唇口蓋裂の患者に対する無料手術ならびに、現地口腔外科医師への技術指導を行っている。

2018年12月に、我々がベトナムベンチエ省でのこの活動に参加した。JCPFの活動したベンチエ省 Nguyen Dinh Chieu General Hospital においては、医療の視察も行ったので、報告する。

2. ベトナム社会主義共和国ベンチエ省の医療の概要

ベンチエ省はベトナム南部に位置し、ホーチミン市から車で約3時間である。気候は、熱帯モンスーン性気候に属し、年間の平均気温は25度以上、平均湿度は70%以上で、12月は乾季にあたる。医療環境・水準は、日本や周辺アジア先進国と比べ劣っており、都市部と地方の医療環境は大きく異なり、医療水準の地域格差は近年ますます拡大している。また、公立医療機関と私立医療機関においても医療環境は大きく異なる。公立では医療スタッフ、受容能力、医療機器等の絶対数が不足しており、地方においてより顕著である²⁾。医療保険制度として国民皆保険を目指しているが、特に農民や自営業者などの任意保険の加入率は低いのが現状である³⁾。

我々の活動したベンチエ省 Nguyen Dinh Chieu General Hospital は、地方の約1300床の公立病院であり、まさに医療スタッフ、受容能力、医療機器等の不足が顕著で多くの患者と家族で早朝から混雑していた。病院敷地内では、日本からの支援によって新

病棟が一部建設され、手術室や集中治療室(ICU)、一部の外来が新病棟に設置されていた。

3. 手術室とICU

手術室内は10室で、主に上部ならびに下部消化管の手術をはじめ、整形外科等の手術が行われている。視察の当日は、複数ケースの腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われていたが、手術室内の手術材料や薬剤のストックは少なく、緊急事の対応などへの備えは十分と言え難かった。視察日には、看護師が10名程度勤務しているとのことで、直接介助・間接介助の看護師が手術室内にいた。しかし、麻酔導入の際には麻酔科医師のみが患者に対応していた。腹腔鏡下胆嚢摘出術後には、患者は抜管前に手術室に隣接する回復室へ移送され、次に続く手術患者がすぐに入室していた。消化管の手術件数は多いが、患者への侵襲の大きく、高度な手術の技術が必要な肝臓や膵臓の手術は行われていない。こうした手術が必要で経済力のある患者は、都市部であるホーチミン市の病院で治療を受けるとのことであった。

集中治療室は、オープンフロア35床と個室4床で、人工呼吸器や輸液ポンプ等のME機器は整備されていた。ICUに入室する患者は、肺炎、敗血症、脳梗塞が多くを占める。ほとんどの患者が身体拘束をされており、仰臥位で鎮静されていた。ベッド間の距離は非常に近く、プライバシーが保たれにくい状況であった(図1)。看護師は全体で40名が所属しているとのことであったが、ベッドサイドで看護師が患者に対して直接的にケアを行っている光景は見られなかった。家族控室は「外にある」とのことであったが、他の入院患者家族と同様の場所であり、屋根はついているが屋外のベンチであった(図2)。



図1. 新棟の集中治療室



図3. 旧病棟外観



図2. 左手が入院患者家族の待合



図4. 廊下の机で仕事する担当看護師。奥は屋外。

3. 病棟

旧病棟は入院患者とその家族が療養生活を送っていた(図3)。外科病棟はワンフロア120床で、脳外科、整形外科を含む。看護師は20名程度が勤務しているとのことであった。看護師は、昔ながらのナースキャップを付けており、ナースステーションとは別に廊下に机を設置して、担当看護師が仕事をしていた(図4)。外科病棟では、入院したばかりの患者が病室に入らずに、廊下で患者がストレッチャーに乗せられたままであり、我々に対して家族が涙ながらに訴えてきた。病室は6床であるが、狭い部屋の中の壁際にベッドが6つ並べられており、室内入口にはトイレが設置されていた(図5)。

内科系病棟の一室では、経済的に余裕のある数名の患者が化学療法を受けていた。しかし、入院費を節約するために、日帰りの治療を受けているとのことであった。



図5. 病室内のトイレ

4. ベトナムにおける看護と看護基礎教育

通訳を交えて、手術室看護師長にインタビューを行った。看護教育に関しては、ベトナムでは短期大学または大学で看護基礎教育を受けた後に、国家試験を受けることになる。看護師の役割は、患者の世話や診療補助に加えて、調剤業務も行うこともある。看護師は、夜勤もあり

多忙な一方で、給料が安くてプライベートな時間が少ないといわれ、ベトナムでも特に地方では慢性的な看護師不足であるという。

Nguyen Dinh Chieu General Hospital では、看護学生の実習受け入れも行っている。短期大学の担当教員が実習生の様子を見に来るが、手術室では主に看護師長が学生指導に当たる。日本と同様に、学生は真面目に学習に取り組む学生もいれば、そうでない学生もあり、学生指導は苦勞が多いという。優秀な卒業生が、短期大学や大学で教員となって後輩の育成にあたることが多いとのことであった。

5. Nguyen Dinh Chieu General Hospital ICU における看護の今後の課題

今回の視察にあたっては、多くが通訳なしで行われた。英語でのやり取りで、情報が不十分な点もあったが、看護の現状から、課題もいくつか見えてきた。江尻は ICU での看護を専門とするため、Nguyen Dinh Chieu General Hospital ICU における看護の課題を述べる。

ICU の看護は、重症患者の観察や管理に加えて精神的・社会的な看護支援が必要になる。そして、ICU で治療を受けることによる身体機能障害・認知機能障害・メンタルヘルスの障害である集中治療後症候群 (Post Intensive Care Syndrome) を起こさないことが重要である。そのためには、鎮静や身体拘束は最低限にして、早期離床を行い、多職種で患者の社会復帰を目指すことが必要である。また、ICU で治療を受けるがその甲斐がなく人生の終末期となった際には、ICU で終末期を迎える患者への向き合い方と、その家族に対する看護の視点も重要である。

ICU における看護の質を高めることは、患者と家族の QOL (Quality of Life) を向上させることにつながる。そのため、患者の身体的な支援のみならず前述した視点を持って ICU の看護を行う必要があり、当院 ICU における看護の課題と言える。

地方の公立病院である当院 ICU では、医療機器の整備などは進む一方で、集中治療室における看護についてはまだまだこれからの発展が期待される。そのため、毎年看護師長や主任との情報交換を行い ICU で

の看護や看護教育についてディスカッションをするなどにより、看護の質を高める機会となる。

ベトナムでは、都市部と地方の医療サービス格差の是正が重要であり、医療提供体制に卒後継続教育の役割を含んだ Direction of Healthcare Activities (DOHA) と呼ばれる上位病院による下位病院の指導が実施されている⁴⁾。看護師の研修も含まれており、興味深いシステムである。ICU における看護について、研修の有用性なども興味深い。

6. 小児科医療と今後の課題

Nguyen Dinh Chieu General Hospital は地域の基幹病院である。馬場は、空き時間に同病院の小児病棟の新生児集中治療室 (NICU) を視察させていただいた。NICU では在胎 28 週で出生した児が目をついた。生命は助けられたようであるが、重症の未熟児慢性肺疾患を罹患しており、酸素投与の離脱ができていない状況であった。たぶん、出生直後の呼吸器設定と、適切なサーファクタント投与が出来ていなかったためと推測する。日本では 30 年以上前の新生児医療レベルと感じた。

一般小児病棟では、大きな膜様部心室中隔欠損症の乳児の相談を受けた。多呼吸陥没呼吸を有し、中等度の肺高血圧を伴っていた。外科的治療が必要と判断し、ハノイの外科治療可能な病院への転院を勧めた。

全体としてはまだ「発展途上」の医療レベルであり、今後の課題は山積していると感じられた。

本視察は、中部大学特別研究費 (30M01A) の一部を使用して行われたものである。

引用文献

- 1) 日本口唇口蓋裂協会ホームページ [インターネット] <http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~jcpf/> [検索日: 2019 年 1 月 22 日]
- 2) 外務省 世界の医療事情 [インターネット] <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/viet.html> [検索日: 2019 年 1 月 22 日]

- 3) 村上仁: 日本とベトナム・ラオスの医療保険: 制度比較から見る協力可能性. 平成 26 年度国際医療研究開発費研究報告シンポジウム「医療保険制度—日本の経験を途上国の UHC 支援に生かすには. 報告書, 2015.
- 4) 伊藤智朗, 土井正彦, 稲岡希実子, 江上由里子, 小原博, 藤田典子: ベトナム社会主義共和国で有効で持続性のある医療分野の卒後研修制度確立のための要素. *Journal of International Health*, 32(2), 2017.

Title: The Reports of Nguyen Dinh Chieu General Hospital in Ben Tre Province, Vietnam

Authors: Harumi Ejiri, Reizo Baba

Address: College of Life and Health Sciences, Chubu University, 1200 Matsumoto-cho, Kasugai, Aichi 487-8501, Japan

Keywords: Vietnam, Nursing, ICU, Pediatrics